

野田 九条通信

2019年9月 165号

野田・九条の会 事務局

☎ 04-7122-0502



野田・九条の会

検索

≡ やっぱりいまの憲法がいいね！ ≡

世直し活動にSNSを

ソーシャル・ネット
ワーキング・システム

使って見ませんか！

今香港では中国からの独立を守るために200万人のデモが沸き起こっています。若者が運動の大きな力になつていきます。日韓関係は最悪の状況になつていて、嫌韓の本が本屋の店頭でうず高く積まれています。しかし隣国韓国では朴槿恵大統領の不正を許さないと100万人の市民（若者も多く参加）が平和的な「ローソク革命」で大統領の退陣に追い込みました。世界を見渡しても市民が自分たちの意見をデモで主張することは当たり前のこととされているのに、日本ではデモは冷やかな視線で見られる現実に「何故？」との大きな疑問を持っています。そんな疑問に対して先日開催された平和のつどいで、国際ジャーナリストの伊藤千尋さんに示唆に富んだお話をいただきました。その中で日本ではデモが高揚されなかった理由として二つの視点。運動はSNSを抜き①運動に笑顔が伴う歌がない②SNSの活用が市民運動に定着していません。市民運動の拡大にSNSの利用が欠かせないと。SNSを利用していない方たちは参院選くらいは新選組の躍進を驚かされたのではないのでしょうか。

党首の山本太郎さんの政見放送動画の視聴回数は60万回、比例代表での投票数は99万票と最多。4億円の寄付。マスコミでは全く報道されない中で異例の現象が巻き起こりました。しかしSNS上には毎日の様にいろいろな新選組の話題が投稿されていってただ事にならない事が起きています。いまや市民運動はSNSを抜きには考えられない時代に入っているのだと思います。

若者と連帯してみませんか。先ずはお孫さんとライン交換からスタートするのはいかがでしょうか。楽しいコミュニケーションができる可能性があります。

報告

平和のつどい・のだ2019

2日間で約200人来場

今年の平和のつどいは「憲法」をテーマに8月17日と18日中央公民館で行われました。

野田・九条の会は「現行憲法誕生秘話」「前文を読んでみよう」「明治憲法との違い」「変化する自衛隊」「自民改憲案を点検する」「国民投票法の問題点」と憲法をいろいろな角度から取り上げ展示しました。説明付きの展示ツアーは参加した方からは好評でしたが、もっと多くの人に見てほしい・・・作成者のつづきです。



朗読劇「夏の絵本より」

1日目の沖縄の戦争体験を聞く催しでは体験を生で聞くことがだんだんできなくなっているいま、体験談を映像と録音で記録する会の協力のできたことは良かった。先が見えた気がします。



伊藤千尋氏講演

伊藤千尋さんの講演「平和をもたらす市民の行動」では、世界各地の市民が立ち上がって政府を動かす姿に感動。明日からの行動に生かさなくては！

最新の情報は野田・九条の会ホームページで art9noda.html.xdomain.jp



今月の予定です

皆さん 気軽に参加ください



9月1日(日) 13:30～16:40

DVD視聴
と意見交換

「自衛隊はどうなっているのか?」変貌する自衛隊」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

9月9日(月) 16:00～17:00

9の日
行動

九条通信配布・シール投票 雨天中止
川間駅 北口 野田・九条の会

9月14日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 9月例会
樺のホール 研修室 野田・九条の会

9月19日(木) 16:00～17:00

9の日
行動

九条通信配布・シール投票 雨天中止
愛宕駅 東口 野田・九条の会

9月20日(金) 13:30～15:30

ちょっと硬派な

おしゃべりカフェ

政治や憲法のこと気軽に
おしゃべりしませんか。



北コミ 談話室 野田・九条の会

9月29日(日) 16:00～17:00

9の日
行動

九条通信配布・シール投票
梅郷駅 通路 野田・九条の会

10月6日(日) 13:30～16:40

DVD視聴
と意見交換

「太陽が欲しい」
「慰安婦と呼ばれた中国女性たちの記録」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

独善的な政権は行き詰まる!

改憲より生活重視の道を進もう

理不尽な現政権

この秋、いよいよ消費税率が10%となります。消費税の使い道は社会保障や国の借金返済と説明されますが実態は異なります。消費税が施行され30年、この間消費税収は法人減税で不足となった穴を埋めるためでした。消費税率の右肩上がりグラフカーブと、右肩下がりの法人税率カーブは見事に上下対照となっています。このことは国民に広く知られるようになってきました。



このような理不尽さは各地にあります。沖縄県は米軍との地位協定の改定を求めています。政府は頑として動きません。県が各国の地位協定を調べた結果でも明らかです。HPで欧州4ヶ国が米国と交わした地位協定を公表し、米軍は各国の法律に従うとしているのと違って日本では適用外であり、立場が著しく弱いと訴えています。



辺野古埋め立てが止まらない現政権への不信と焦燥感は沖縄に止まりません。秋田、山口両県には2千億円を超えるイージスアショア計画があり、県民に新たな不安を与えています。ミサイル攻撃から日本を守るとの説明ですが、トランプ大統領の要求であり米国の貿易赤字解消と同国の防



衛だと県民は気づいています。なにせ両県は米軍基地があるハワイ、グアムへのミサイル軌道直下にあるのですから。

首都圏においても都民はこれから新たな不安を強いられます。羽田空港の増便で都内住宅の上空200m余りを2~3分毎に大型機が通過するのです。この危険な過密ダイヤとルートをとらざるをえないのは首都圏上空を独占する広大な米軍専用の横田空域にあります。ここでも安倍政権は返還交渉をしようとしません。



よみがえる生活者の票

今度の参院選に新たな兆候がでてきたことはお気づきのことでしょう。れいわ新選組、N国党300万票の衝撃です。有権者はいまの既成政党には望めない思いを託したと考えられます。投票率が半数を割ってもこの突出した得票は、国政に矛盾を感じず人々が新たな方向を模索したとも言えます。

国民の間にじわじわと不安、落胆また憤りが広がってきました。参院選で声高に叫んだ改憲は有権者に受け入れられず、片や生活に密着した訴えが共感を呼びました。外交、内政を行き詰まらせる政権は降ろし、生活重視の新たな政権に選び直しましょう。

義父を偲んで語る

宇野和江

戦後74年を迎えましたが戦争を体験された方が減少し、過去の記憶が薄れていくようです。大学2年になる孫が父親とガダルカナル島戦のドキュメント映像を見たという話からちょっと硬派な話し合いになった。私は、夫と結婚したばかりの頃義父から聞いた空襲で家屋を焼失した話を初めて息子たちに話しました。

1945年3月10日未明、東京下町に約300機のB29爆撃機が飛来、一夜にして10万人が死亡、焼失家屋約27万戸、100万人余りの被災者



がでた東京大空襲です。夫の生家は浅草区菊屋橋にあり住んでいたが、戦況を危惧した知人から茨城の結城に疎開をすすめられ、家族全員が難を逃れられたのです。

義父が結城から南東方向の赤く染まった空を見上げ涙を流していたことを夫は当時5歳だったが記憶に残っているという。義父は東京の様子を見に上京し、辺り一面何もない焼け野原と無残に散乱する焼死体が転がっていて地獄のようだったと…。焼けた異臭の中を歩いていた時「水をくれ水を」と足を掴まれ、逃げるように去ってしまったことが義父の心に重く残ってしまい、誰かに聞いて欲しかったのだろうと思います。夫は「もし東京にいたら今はいないということだよ。」息子も「孫も自分たちもいないということだね…」と。「戦争とはそういうことだから絶対にしてはいけないということだね…」と。話し合った貴重な夏の日でした。